

部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	朝比奈 昌明	電 話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	--------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4073		事務事業名称	体育施設管理事業						短縮コード	経常	4073	臨時	4074
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	02	体育施設運営費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		八千代市都市公園条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
平成15年6月13日交付された地方自治法の一部を改正する法律において、公の施設の管理委託制度が廃止され、指定管理者制度が導入されました。 都市公園内の有料公園施設の管理運営について、管理運営の効率化（経費の削減）と多様な市民ニーズへの迅速な対応という観点から指定管理者制度を導入しました。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	02	人間尊重都市をめざして							
基本目標 ①施設利用時間の拡大（利用時間の延長）を図ります。 ②施設運営に係わる利用者の利便性の向上に努めます。					大項目（節）	02	生涯学習							
					中 項 目	03	スポーツ・レクリエーション							
					小項目（施策）	02	スポーツ・レクリエーション施設の整備							
					細 項 目	01	体育施設の整備と活用							
				実施計画の計画事業										
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		昭和47年12月 ～			計画事業費		千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	全市民 自由時間の増加や高齢化の進行に伴い、生涯学習，健康維持，人とのふれあいといった観点から，スポーツ・レクリエーション活動への関心が高まっています。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 地方自治法の一部を改正する法律の施行により、有料公園施設の管理運営を指定管理者に委託（継続3年目）しております。							
	※平成22年度に計画していること： ①指定管理者2回目の指定（平成21年4月1日～平成24年3月31日）を行いました。 ②管理運営させる施設の老朽化が顕著であり、止む無く施設利用の休止や、廃止が見込まれる状況にあります。財政的な事情から抜本的な対策は困難な状況にあることから、当面は、施設の部分的な修繕を行いながら施設管理を行ってまいります。							
意図 （何を狙っているのか）	全ての市民が、生涯にわたってスポーツに親しめる環境を整備します。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	市民体育館利用者数	人	147,798	147,000	125,626	130,000	
	指標2	野球場利用者数	人	37,664	37,000	24,967	25,000	
	指標3	庭球場利用者数	人	65,358	70,000	71,156	80,000	
活動指標	指標1	市民体育館稼働率（主体育室）	%	80	80	88	90	
	指標2	野球場稼働率（総合運動公園）	%	58	60	53	60	
	指標3	庭球場稼働率（総合運動公園）	%	80	80	76	80	
成果指標	指標1	体育館・野球場・庭球場利用者数	人	250,820	254,000	221,749	235,000	
	指標2	八千代市の人口（4／1現在）	人	188,624	191,469	191,469	192,570	
	指標3	施設の利用者数／人口	%	133	132.7	115.8	122	
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4073	事務事業名称	体育施設管理事業				所属名	公園緑地課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			県立八千代広域公園内に市立総合グラウンドを建設し、スポーツ・レクリエーション機能の向上を図る。 既存施設，設備の整備，改修し機能向上を推進する。 また，老朽化し休止している施設のあり方について検討する。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
	☐ 廃止・休止							
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
今後の方向性	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			建設コストは増加するが，受益者負担の適正化によりランニングコストの軽減する。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
老朽化した施設の改修，休止した市民プールの再開，総合運動公園の駐車場整備などの要望があります。									

所属長コメント	今後建設される，総合グラウンド等新たな施設管理が発生することから，指定管理の有り方を検討し，最小の経費で最大の効果が発揮できるよう努めたい。 また，スポーツ・レクリエーションに係る施設管理事務と運営管理事務を統合することにより効率的な運営を検討する。								
	評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			老朽施設等については、存廃を含めて今後の方針を検討すべき。利用者の受益者負担については，慎重に検討すべき。				
☐ 手法プロセスの改革・改善									
☐ 事業規模の拡大・縮小									
☐ 統合・役割見直し									
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									